

平成31・32年度 佐賀県建設工事入札参加資格の決定 (案)

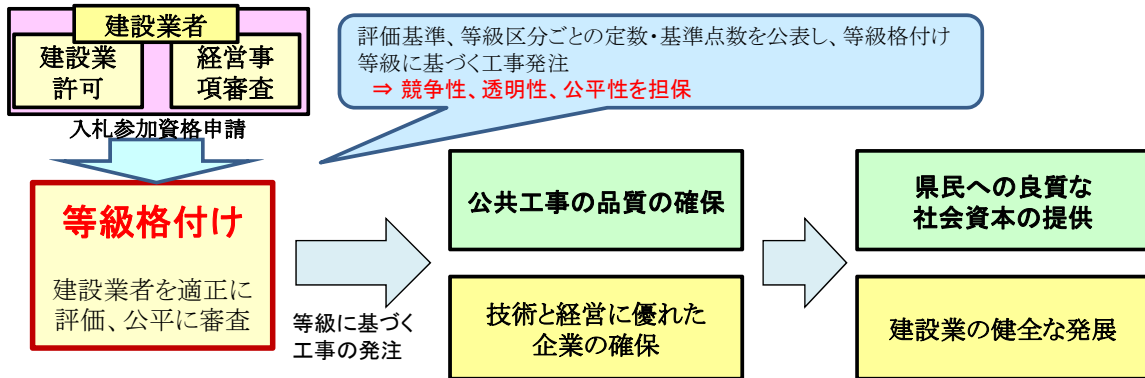
平成31年3月15日

佐賀県建設・技術課

1. 建設工事入札参加資格制度について

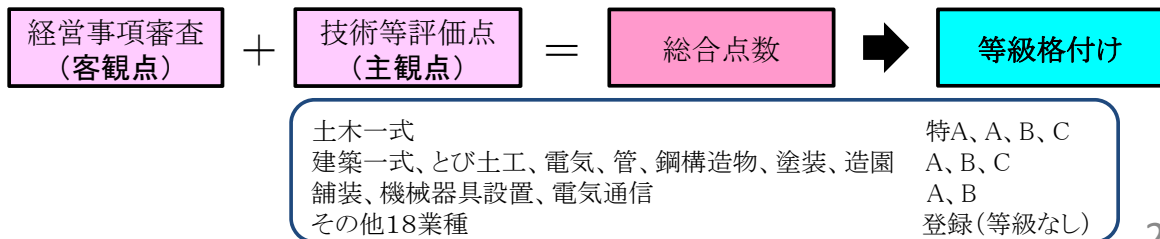
建設業者入札参加資格審査(等級格付け)の概要

工事の内容や規模に応じた技術力や経営力を有する建設業者を選定できるよう、あらかじめ入札参加資格の審査を行い、建設工事の種類や金額に応じ、等級に区分して資格決定を行う。



等級格付けの方法

- 入札参加資格は2年間有効であり、**2年ごとに資格審査(等級格付け)を実施**
- 全国共通の経営事項審査(客観点)と県独自の技術等評価点(主観点)の合計点数により等級格付け



2

経営事項審査(客観点)の内容

区分	評価内容
経営規模	「年間平均完成工事高(工事種類別)」、「自己資本額」など
経営状況	企業の財務状況(利益率、自己資本比率、利益剰余金など)
技術力	「技術職員数」、「年間平均元請完成工事高(工事種類別)」
その他(社会性等)	「労働福祉の状況」、「建設業の営業年数」、「防災活動への貢献の状況」など

- 経営事項審査の評価項目、配点等は国が全国共通に定めたもの。

技術等評価点(主観点)の内容

区分	評価の目的・対象	評価内容
技術的要素	公共工事の品質確保を図るため、建設業者の技術力を評価	県工事の施工成績、優良工事に対する知事表彰等の表彰実績、施工管理に関する技術力及び資質の向上のための継続学習実績(CPDS、CPD)等
県の重点施策への取組	建設業を取り巻く課題の解決につながるような事項について、県の重点施策への取組状況を評価	女性の活躍推進や子育て支援、環境、障害者や若年者の雇用等について企業の取組を評価
その他		行政処分等

3

佐賀県における等級格付け制度の現状

○11業種は順位制による等級格付け

- ・ 公共投資額の減少に伴い、入札参加者数の計画的な縮小を図るため順位制を導入（平成21・22年度～）
- ・ ただし、最下位等級は一定の技術力及び経営基盤のある者の入札参加資格取得を可能にするため基準点数制で格付け（平成25・26年度～）

○18業種は登録制

- ・ 発注が少ない17業種は登録制に移行（平成25・26年度～）
- ・ 建設業法の改正に伴い「解体業」を追加（平成29・30年度～）

○県内市町の多くが県の入札参加資格審査（等級格付け）を準用

H21・22	H23・24	H25・26
△5%	△10%	△10%
全等級 順位制	全等級 順位制	C級は基準点制 結果全体数は増加

4

入札参加資格者数(県内業者・業種別)

業種	平成31・32年度			
	特A	A	B	C
土木一式	27	77	162	基準点 760点
建築一式		45	50	基準点 730点
とび土工		27	23	基準点 740点
電気		20	21	基準点 710点
管		29	59	基準点 780点
鋼構造物		8	8	基準点 620点
舗装		38	基準点 930点	
塗装		14	18	基準点 600点
機械器具		7	基準点 650点	
電気通信		10	基準点 680点	
造園		29	35	基準点 710点
その他の18業種	登録制(基準点600点)			

5

H31・32入札参加資格審査(等級格付け)のポイント

1. 審査(格付け)方法、資格者数、基準点

- (1) 審査(格付け)方法は、現在の方法を継続
 - ・上位等級は**順位制**、最下位等級は**基準点制**
 - ・発注の少ない18業種は登録制
- (2) 等級ごとの資格者数、基準点は現状維持

2. 主観点の評価項目等

- (1) 項目の新規追加、廃止は行わない
- (2) 子育てし大県“さが”プロジェクトに関する項目等の内容を一部拡充する

6

技術等評価点(主観点)の評価項目選定の考え方

- ① **県の重要政策**であること(県総合計画に掲げる施策など)
- ② 担当部局自らが、積極的に施策の推進に取り組んでいること
- ③ 建設業者に限らず他の業種に対しても、同様に施策の周知・推進を行っていること
- ④ 建設業者自体の取組みであること
(従業員の取組状況・実績が評価の対象でないこと)
- ⑤ 建設業者の取組状況を容易に証明・確認することができること

7

H31・32年度の主観点見直し概要

《技術的要素》

変更なし

工事施工成績、優良施工知事表彰等、技能士等、
継続学習(CPDS、CPD)、建設業労働災害防止協会での活動

《県の重点施策への取組》

変更なし

障害者雇用、不当要求防止責任者の選任

一部拡充

女性活躍・子育て応援 ⇒ 女性活躍・子育て応援・出会い結婚応援へ拡充
若年者雇用 ⇒ 産業技術学院新規卒業生の年齢制限を緩和
エコアクション21認証取得 ⇒ 加点点数を引き上げ(3→5点)

新規・廃止

なし

H31・32年度の主観点見直し概要

	項目	平成29・30年度の内容	区分	平成31・32年度の見直し内容等
技術的要素	工事施工成績	工事の施工成績を評価	継続	
	優良施工知事表彰等	優良建設工事の知事表彰、県土づくり本部長表彰等を評価	継続	
	技能士等	技能士の配置を評価	継続	
	継続学習(CPDS、CPD)	技術者の継続学習を評価	継続	
	建設業労働災害防止協会活動	建設業労働災害防止協会での活動を評価	継続	
県の重点施策	女性の活躍推進及び子育て応援	女性の活躍推進会議、子育て応援宣言事業所に登録し、取組を実施した場合に加点	拡充	加点対象に「出会い結婚応援企業」登録制度を追加
	若年者雇用	若年者(30歳未満)雇用を評価	拡充	産業技術学院新規卒業生は32歳未満も加点対象
	エコアクション21認証取得	エコアクション21の認証・登録を評価	拡充	加点引上げ(3→5点)
	障害者雇用	障害者の雇用を評価、法定雇用率未達成の場合は減点	継続	
	不当要求防止責任者の選任	不当要求防止責任者を選任し、講習を受講した場合に加点	継続	
	行政処分等	営業停止、指名停止、警告、指導等を受けた場合は減点	継続	

2. H31・32年度 佐賀県建設工事入札参加資格決定(案)について

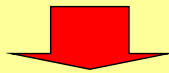
10

佐賀県建設工事等入札参加資格の決定について

佐賀県建設工事等入札参加資格については、「佐賀県建設工事等入札参加資格の審査等に関する規則」第2条第4項に基づき、佐賀県建設業審議会に諮問することが義務づけられている。

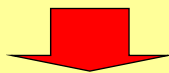
平成31・32年度佐賀県建設業者施行能力等級評定要領の決定

平成28年度第1回佐賀県建設業審議会(平成28年8月31日開催)において、諮問し、決定した。



平成31・32年度佐賀県建設工事等入札参加資格の受付

平成30年12月、上記評定要領に基づく申請受付を行うとともに審査を行った。



平成31・32年度佐賀県建設工事等入札参加資格の決定

「佐賀県建設工事等入札参加資格の審査等に関する規則」第2条第4項に基づき、佐賀県建設業審議会に諮問を行う。

11

平成31・32年度 入札参加資格審査状況一覧（県内工事） 申請業者数・・807者

平成31年4月1日現在

業種コード	業種	平成29・30年度（A）						平成31・32年度（B）						合計（B）-（A）								
		特A	A	B	C	有資格	等級外	合計	特A	A	B	C	有資格	等級外	合計	特A	A	B	C	有資格	等級外	合計
010	土木一式	27	77	164	133	401	79	480	27	77	162	143	409	73	482	0	0	△2	10	8	△6	2
020	建築一式		46	49	122	217	31	248		45	51	126	222	29	251		△1	2	4	5	△2	3
030	大工					5	13	18					8	14	22					3	1	4
040	左官					3	6	9					5	5	10					2	△1	1
050	とび土工		27	24	130	181	134	315		27	25	137	189	139	328		0	1	7	8	5	13
060	石					9	29	38					9	35	44					0	6	6
070	屋根					14	8	22					19	8	27					5	0	5
080	電気		20	21	39	80	8	88		20	21	44	85	10	95		0	0	5	5	2	7
090	管		29	59	93	181	114	295		29	59	117	205	101	306		0	0	24	24	△13	11
100	タイル					4	5	9					7	7	14					3	2	5
110	鋼構造物		8	8	6	22	46	68		8	8	6	22	49	71		0	0	0	0	3	3
120	鉄筋					0	3	3					0	3	3					0	0	0
130	舗装		38	13		51	170	221		38	20		58	172	230		0	7		7	2	9
140	しゅんせつ					42	52	94					47	55	102					5	3	8
150	板金					6	5	11					9	2	11					3	△3	0
160	ガラス					5	3	8					6	3	9					1	0	1
170	塗装		14	18	29	61	19	80		14	18	36	68	25	93		0	0	7	7	6	13
180	防水					32	10	42					35	11	46					3	1	4
190	内装仕上					31	10	41					39	9	48					8	△1	7
200	機械器具		7	7		14	7	21		7	11		18	7	25		0	4		4	0	4
210	熱絶縁					3	3	6					3	3	6					0	0	0
220	電気通信		10	14		24	9	33		10	19		29	9	38		0	5		5	0	5
230	造園		29	35	33	97	25	122		29	35	36	100	30	130		0	0	3	3	5	8
240	さく井					6	2	8					7	2	9					1	0	1
250	建具					14	3	17					16	2	18					2	△1	1
260	水道施設					174	90	264					175	103	278					1	13	14
270	消防施設					39	8	47					42	12	54					3	4	7
280	清掃施設					1	0	1					1	0	1					0	0	0
290	解体					167	20	187					142	46	188					△25	26	1
	合計	27	305	412	585	1,884	912	2,796	27	304	429	645	1,975	964	2,939	0	△1	17	60	91	52	143

※H29・30年度の数値は、H29.4.1時点

※1.各等級の最下位に総合点数の同点者が複数いるときは、同点者を全て当該等級に決定する。（評定要領第5条第3項）

※2.このときは、当該等級の直近下位の等級の定数から超過した者の数を差し引く。（評定要領第5条第4項）

12

平成31・32年度 入札参加資格者数一覧（県内工事）（県内事務所別）

（土木一式）業者数

平成31年4月1日現在

年度	平成29・30年度（A）					平成31・32年度（B）					合計（B）-（A）				
	特A	A	B	C	合計	特A	A	B	C	合計	特A	A	B	C	合計
佐賀	12	21	46	52	131	13	22	41	56	132	1	1	5	4	1
東部	2	16	31	23	72	2	15	31	27	75	0	1	0	4	3
鳥栖	1	11	22	18	52	1	12	23	19	55	0	1	1	1	3
神埼	1	5	9	5	20	1	3	8	8	20	0	2	1	3	0
唐津	5	12	30	19	66	4	14	32	19	69	1	2	2	0	3
伊万里	2	9	12	9	32	2	9	11	12	34	0	0	1	3	2
杵藤	6	19	45	30	100	6	17	47	29	99	0	2	2	1	1
武雄	6	9	24	20	59	6	8	26	19	59	0	1	2	1	0
鹿島	0	10	21	10	41	0	9	21	10	40	0	1	0	0	1
合計	27	77	164	133	401	27	77	162	143	409	0	0	2	10	8

（建築一式）業者数

平成31年4月1日現在

年度	平成29・30年度（A）				平成31・32年度（B）				合計（B）-（A）			
	A	B	C	合計	A	B	C	合計	A	B	C	合計
佐賀	14	16	37	67	14	18	36	68	0	2	1	1
東部	9	8	14	31	9	7	19	35	0	1	5	4
鳥栖	7	6	10	23	8	5	14	27	1	1	4	4
神埼	2	2	4	8	1	2	5	8	1	0	1	0
唐津	5	8	31	44	5	7	33	45	0	1	2	1
伊万里	6	4	12	22	5	6	11	22	1	2	1	0
杵藤	12	13	28	53	12	13	27	52	0	0	1	1
武雄	9	6	14	29	8	7	12	27	1	1	2	2
鹿島	3	7	14	24	4	6	15	25	1	1	1	1
合計	46	49	122	217	45	51	126	222	1	2	4	5

※H29・30年度の数値は、H29.4.1時点

13

工事種別・等級ごとの最下位点数の推移

発注工事種別	特A級	A 級	B 級
土木一式	1~27位[27]	28~104位[77]	105~266位[162]
H31・32	1,118点	1,054点	920点
H29・30	1,097点	1,031点	902点
H27・28	1,085点	1,023点	889点

発注工事種別	A 級	B 級
建築一式	1~45位[45]	46~95位[50]
H31・32	1,031点	903点
H29・30	1,003点	903点
H27・28	980点	894点
とび・土工	1~27位[27]	28~50位[23]
H31・32	930点	890点
H29・30	912点	876点
H27・28	894点	850点
電気	1~20位[20]	21~41位[21]
H31・32	1,028点	896点
H29・30	1,001点	885点
H27・28	980点	861点
管	1~29位[29]	30~88位[59]
H31・32	992点	873点
H29・30	966点	852点
H27・28	952点	847点
鋼構造物	1~8位[8]	9~16位[8]
H31・32	825点	707点
H29・30	818点	688点
H27・28	798点	692点

発注工事種別	A 級	B 級
舗装	1~38位[38]	
H31・32	1,055点	
H29・30	1,027点	
H27・28	1,002点	
塗装	1~14位[14]	15~32位[18]
H31・32	826点	759点
H29・30	805点	732点
H27・28	792点	712点
機械器具	1~7位[7]	
H31・32	816点	
H29・30	800点	
H27・28	794点	
電気通信	1~10位[10]	
H31・32	798点	
H29・30	793点	
H27・28	740点	
造園	1~29位[29]	30~64位[35]
H31・32	917点	819点
H29・30	890点	786点
H27・28	881点	795点